



かさまつの子

笠松町道德教育連絡会議



鮮やかな手さばきに参加者は感心しきり

「食」から世界を考える

私たちは下羽栗小学校PTAは、ここ数年、子どもたちの食生活を考えてきました。

- ・「口当たりがよく、肉食中心」に変わってきている。
- ・清涼飲料水を大量に摂取する。
- ・スナック菓子類などを日常的に摂取する。

という最近の子どもの状況を踏まえ、健康的な生活を知るための講演会を開いたり、様々な食材を工夫した料理教室を開催したりしてきました。

今年度は、料理教室の観点を、今までの栄養的な観点から、国際人の育成という観点を上乗せしての実施です。

21世紀に羽ばたく子どもたちは健康でたくましい体と精神を兼ね備えていなければなりません。更に、国際人としての意識を持つていないことには、飛躍的に国際化が進んだ世の中で生き残っていくことができません。国際的な経験は、小学生の早い段階に行うのがよいと考えます。考え方が柔軟で吸収が速い

からです。更に、何らかの活動をとおして行うことで、知らず知らずのうちに国際人としての意識を身に付けていくものだと考えます。

今回は、12月7日に、国際交流親子料理教室という形で実施しました。外国(インド)の力を講師にお招きし、本場のカレーやナンの作り方を伝授していただきました。

子どもたちだけでなく私たち大人も大好きなカレー。そのルーツでもあり、数学の(ムゼロ)を発見した「T大國のインド。同じアジア圏でありながらほとんど知られていない国です。

試食はスプーンも箸も使わないで手で食べる方法を教えていただき食べてみました。インドでは、毎日毎食カレーを食べていること、なぜ「T大國」になったのか、など興味深いお話を聞くことができました。

やはり、国際交流の第一歩は「食」からだ実感した次第です。また2月には、隣国中国のかたをお招きする計画で、本校PTA活動の主要事業に育てていきたいと思えます。

下羽栗小学校PTA

会長 森 昭治



教育委員会だより

教育電話相談

悩んだら
気軽に電話してください。
郡四町教育委員会
☎245・1133

「木曾川が美しくなったね。」
「いい汗かいて気持ちいいね。」
「いい運動になったね。」

羽島郡内には、ふるりの街や川を美しくしようと、長年活動している中高校生のボランティアグループがあります。

かつては、河原に空き缶やペットボトルが捨てられ、環境汚染が広がっていました。そんなふるりの里・木曾川の姿に心を痛め、未来まで美しい清流を残そうと、十一年前に活動を始めた中高校生のKVGというグループです。彼らの地道な活動によって、木曾川のみしさが少しずつ戻ってきました。

その活動の様子を見ていて思うことがあります。それは、川が美しくなっていくこと以上に、若い生徒たちが地域のためにひたむきに汗を流して

始めようボランティア!

活動する姿が、私たち地域の大人に感動を与え、大人のみまで浄化してくれているという事です。

現在、四町教育委員会では青少年のボランティア活動の輪を広げ、子どもたちから生涯学習に進んで参加してもらおうと、「ピバ・ボランティア」はしまぐん」という情報誌を発行しています。小・中・高校生が対象で、年二回春・秋に学校を通して配布します。

各家庭でも話題にしていただき、土・日曜日や祝日の主体的な過ごし方について話し合い、実際にボランティア活動を始めるきっかけにしてほしいと思います。